

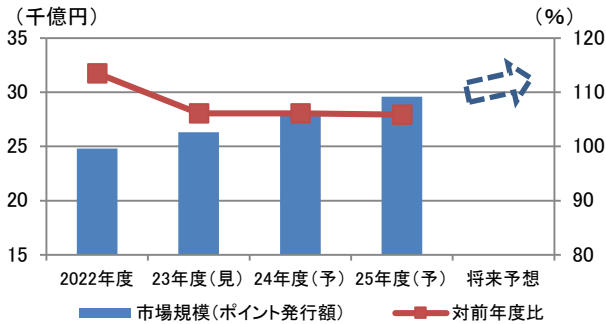
業界アウトライン

・総務省の家計調査年報によると、2022年の総世帯（平均世帯人員 2.22 人、世帯主の平均年齢 59.5 歳）の消費支出は、1 世帯当たり 1 か月平均 244,231 円で、前年に比べ名目 3.9%の増加、実質 0.9%の増加と、2 年連続の増加となった。

注目市場

ポイントサービス市場

ポイントサービス市場 市場規模推移



※出典 矢野経済研究所

■市場環境

・2023 年度のポイントサービス市場規模は、2 兆 6,328 億円（対前年度比 106.1%）と見込まれる。  
 ・国内におけるポイント発行額は、旅行を始めとしたコロナ禍で減少した分野の消費回復、物価上昇による流通額増加などにより、拡大が見込まれる。  
 ・また、キャッシュレス決済の普及により、クレジットカードやコード決済の利用拡大が進むことで、ポイント発行額は更なる拡大が見込まれる。

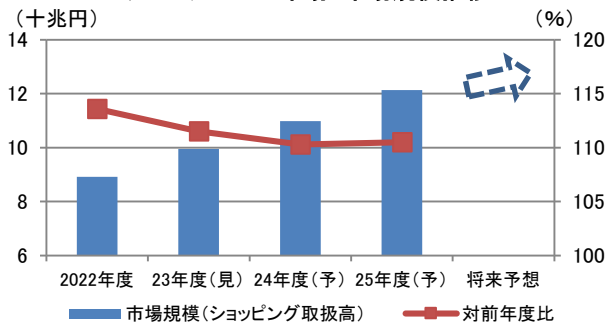
■業界動向／事業者動向

・同市場では、共通ポイントを中心にマルチポイント化が進む中で、キャッシュレス決済とセットでポイントサービスを提供する流れが堅調になっており、ポイント付与による顧客囲い込みや、ID-POS を用いた顧客分析、データ分析を活用した顧客マーケティングに結び付ける取組みが加速するとみられる。  
 ・また、同市場ではデジタルカード化が本格化するとみられる。ポイント発行事業者は、スマホアプリによるデジタルカードの提供に注力しており、プッシュ通知などを通じて個々の会員に適した情報を届け、自店や加盟店の売上向上を支援することで、ポイントサービスの付加価値を高める動きがみられる。

注目市場

クレジットカード市場

クレジットカード市場 市場規模推移



※出典 矢野経済研究所

■市場環境

・2023 年度のクレジットカード市場規模は、99 兆 5,426 億 79 百万円（対前年度比 111.5%）と見込まれる。  
 ・同市場では、コロナ禍の鎮静化に伴って人流の回復が進み、旅行をはじめ、飲食店やレジャーなどの取扱高が拡大しているほか、オンラインでの消費拡大が進んだことにより、ショッピング取扱高は堅調に拡大している。

■業界動向／事業者動向

・同市場は、不動産や冠婚葬祭領域など、今までクレジットカードが利用されてこなかった領域での利用が拡大することや、日常生活における消費全般でのキャッシュレス決済の利用の浸透が進むと予想されることなどから、市場規模は拡大基調で推移すると見込まれる。  
 ・近年、クレジットカード発行事業者では、提携金融サービスの利用でポイント付与率がアップするといった商品設計を通じて、証券会社や保険会社との連携強化が進んでいる。決済を起点として、銀行、証券、保険の各商品・サービス間において、クロスセルによる事業強化を図る取組みが進んでいる。